

①取組主体

名称 : 宮城県
 担当窓口 : 産業経済部農産園芸課 野菜・花き班 八木千恵
 住所 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
 電話 022-211-2843 FAX 022-211-2849
 E-mail n-engei@pref.miyagi.jp

 団体等の種類 : 都道府県

活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 有 (実績報告書)

②連携している団体等の有無 : 有

→ (有の場合) 連携している団体の属性 (複数回答可、主な団体等のみ) :
 学校、その他 (教育委員会)

③取組地域 宮城県全域

④取組開始時期・経緯 (動機含む)

宮城県では、みやぎ花のある生活創造事業で、(1)花や緑の持つ役割の重要性についての認識を高め、花や緑のある生活・潤いのある生活空間の創造を啓発する、(2)県産花きに対する消費者等の関心を高めることにより、県産花きの消費拡大と生産振興を含めた花き産業の活性化を図ることを目的に「みやぎフラワーフェスティバル」の開催などを行っていたが、平成15年から児童の頃から花き生産に対する関心を高め、生活の中に花きを取り入れる環境を創出することが必要であると考え、小学生高学年を対象に県産花きのフラワーアレンジメント体験教室をスタートした。

⑤目的(目標)

- (1) 子どもの頃から花に親しむ場を提供することにより、花きへの関心を高め、生活の中での花や緑の持つ役割の重要性を認識させる。
- (2) 誰でも簡単にできる手軽なアレンジメントを作成し、家庭に持ち帰ることで一般消費(ホームユース)需要の増加につなげる。
- (3) 県産花きの紹介により、生産状況への理解が深まり、消費拡大と生産振興を含めた花き産業の活性化につなげる。

⑥参加者数・属性推移

	15年度	16年度	17年度	18年度	合計
実施校数	9	8	8	7	32校
体験児童数	291	246	262	252	1,051人

⑦経費

各年度90万円前後
 経費は県で全額負担。(みやぎの花のある生活創造事業等の事業で実施)

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

<開催内容>

小学生高学年を対象としたフラワーアレンジ体験教室を、総合学習や図工等の授業の一環として開催した。開催内容は、宮城県及び各地域の花き生産状況の紹介、フラワーアレンジ体験。毎年、各地方振興事務所（県地方機関）毎に1校、合計7校での開催を基本とする。

<運営及び関係機関との連携>

- (1) 開催校の選定：各地方振興事務所が各市町村教育委員会の協力を得て、実施希望校の募集及び選定を行う。また、実施及び募集に当たっては、県義務教育課及び各教育事務所にも必要に応じ協力を依頼している。
- (2) アレンジメント教室の運營業務：農産園芸課が業務委託を行う。委託先は、県の規則どおり入札により選定。委託先の概ねの条件としては、県内全域においてフラワーアレンジ実習の指導及び進行、実習に使用する資材・道具類の調達が可能であること。

（これまでの委託先：日本フラワーデザイナー協会（NFD）宮城県支部、宮城県花卉商業協同組合）

(3) 実施にかかわる分担：

- ① フラワーアレンジの実施に必要な資材の準備は、受託者側で行う。

（地元生産者からの花材を使用する場合は、地方振興事務所担当者が受託業者に生産者を紹介する場合もある）

- ② 授業の一環として開催するため、全体の進行は学校の先生が行う。
- ③ 宮城県や各地域の花の紹介は、県の職員が行う。
- ④ アレンジの実習については、受託者が指導・進行する。

<フラワーアレンジの内容>

(1) 花材について：

宮城県産花きをできる限り使用する。特に開催地域の花材を優先して使用する。

(2) デザインコンセプトについて：

- ① 学校でテーマを設けているときは、それに即したものにすること。
（家族へのプレゼントなど）
- ② 子供が取り組みやすく、また楽しめること。

(3) デザイン事例：

- ① ラウンド型、② トピアリー型、③ クリスマスケーキ など



<体験教室の開催プログラム>

- (1) 開会：学校担任の先生から体験教室の説明
 - (2) みやぎの花き紹介：
 - ①宮城県の花きの生産について（県農産園芸課職員）
 - ②開催地域での花きの生産について
（各地区農業改良普及センター普及指導員または農産園芸課職員）
 - (3) アレンジメント実習：担当講師及びアシスタントが進行
 - ①アレンジメントを行う時の注意点
 - ②デザインの説明
 - ③花材の説明
 - ④アレンジ方法の説明
 - ⑤アレンジした花の管理方法（長く楽しむために）
 - (4) まとめ
 - ①感想発表：児童から一言
 - ②作品講評：担当講師から一言
 - (5) 閉会・あとかたづけ
- ※プログラム以外に児童からの質問や普段の花の管理方法の紹介など

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

体験した児童は、実習を楽しむことができ、またやってみたいという希望も多い。また、自宅に持ち帰り家族に喜んでもらえてよかったという感想も多かった。

作成したアレンジ作品を学習発表会に展示したり、体験発表をするなどの学校側の取組もみられ、実際にアレンジした子供以外への花への関心を高める効果がある。また、自宅に持ち帰ることにより、家庭での花のある生活提案の一つとなっている。さらに、この活動を契機に、生花店（事業受託者）と連携をとり地域独自で消費拡大を図る動きも見られる。

⑩今後の構想、課題

花きの消費啓発の中で、花きを楽しむ習慣を定着させることは重要であり、そのためには子供のころから花に親しむ機会をつくる必要があると考える。

本年度まで県主催で4年間実施してきたが、今後は、宮城県花と緑普及促進協議会（構成団体：宮城県，仙台市，全農みやぎ，県内生産者団体，県内花流通関係団体等）等が主体となって実施する方向での検討や、開催形態の見直しが必要である。

⑪その他

- 別添1：体験教室の様子
- 別添2：テキスト
（報告書から抜粋）

3

ちびっ子
フロリスト体験教室

平成17年11月2日開催



みやぎ「ちびっ子フロリスト体験教室」 in 角田市

対象：角田市立横倉小学校 6年生 29名
派遣講師：角田市・(有)すずき生花店 鈴木 智久
アシスタント 宍戸 悠也



<使用花材等>

- カーネーション 5本 (名取市)
- スプレーギク 2本 (川崎町)
- りんどう 1本
- レモンリーフ 3~5本
- 宿根かすみそう 1本



アレンジのポイント

ラウンド型は基本の形なので、これをマスターできれば、あなたも立派な花屋さんです。



児童からひとこと

やってみるまでは本当に不器でした。丸い形にするのがむずがしかったけど、やってみたら楽しかったです。



仙南地域の花き

角田市のトルコギキョウは、暖房をして5月の早い時期から10月まで出荷されています。白石市では、水田を利用したきくの生産が盛んで、トルコギキョウや鉢物が作られています。

その他、東北一の生産量を誇る柴田町のきく、川崎町のスプレーぎく、アルストロメリアが有名です。また、七ヶ宿町の乙女ゆりや、宮城県のゆりの新品種「杜シリーズ」が生産されています。

花器の水は毎日替えよう

水が汚れると、バクテリアが増殖します。
花が水を吸う茎の導管が詰まってしまわれてしまいます。
切り花専用の延命剤は、殺菌剤や栄養成分が入っているので説明書をよく読んで使いましょう。

花器は清潔に！

花器がめぐるめるときは、バクテリアがついているかも。
よく洗って使いましょう。
お花の茎がめるときも洗いましょう。

しおれた花は摘みとろう

一本に何輪も花が咲くものは、枯れてきたり、咲き終わった花は摘みとりましょう。

ときどき「切りもどす」

何日かたつと切り口はバクテリアが増えたりしてめぐるめしてきます。
花が水を吸えなくなるので、茎を少し切り落として切り口を新しくしましょう。
切り方は、「水揚げの方法」を参照してください。

飾る場所は涼しく、湿度のあるところ

気温が高いと水が腐りやすく、日当たりが良すぎると開花が早まります。
また、乾燥したところや風があたるところにおくと、葉や花から水分が奪われしおれやすくなります。
花の快適な場所は、適度に涼しく、湿度のあるところですよ。

吸水スポンジにアレンジされたものは水を忘れずに

吸水スポンジにいけられた花は、水の量が見えにくいですが、毎日水があるか確認して、水を足しましょう。
乾燥する場所にあるときは、霧吹きを使って軽く霧を吹きます。
かけすぎると花が腐る原因となるので注意しましょう。
また、枯れたりしおれてきた花は抜きとりましょう。

お花をお庭から切ったり、贈られたら ♪ ♪ ♪

お花を飾る前に・・・

- ①余分な葉は取り除こう。
花器にいけた時に水に浸かってしまう葉や花は、水が汚れる原因になるので取り除きます。
- ②トゲもとりませう。
バラなどのトゲは、他の花の葉や茎を傷つけるので、葉を取り除いた部分のトゲはとってしまいませう。
- ③水揚げをします。
水揚げとは、花材がよく水を吸うように処理することです。
水揚げにはいろいろな方法がありますが、その花に合った処理をします。
ポイントは、水がよく吸えるように、茎の断面積を広くすることと茎と水の間に空気の泡が入り込まないようにすることです。

「水揚げ」の方法

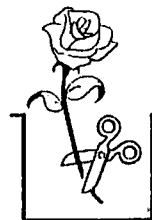
水切り

大きめのボールやバケツに水を入れ、水中で茎を切ります。
できれば3cm以上切り落としませう。
また、水がよく吸えるように、切り口は斜めにし、断面積が広がるように切りませう。
切ったらすぐに引き上げず、2秒間以上水中に入れたままにします。

深水

花がぐったりとしおれてしまったら、水切りをしたあとに、花首をまっすぐにして、根元を5cmほど残し、新聞紙等ですっぽり包みます。
深めのバケツなどに水を入れ、茎の長さの半分以上が水に浸かるようにしてひと晩おきませう。

長く美しく楽しむには



花をいける前には必ず、茎の切り戻しをしましませう。
水に浸る部分の葉は取り除いておきませう。
葉が水中にあると水が腐りやすく、花保ちが悪くなります。

使用テキスト

はじめてのフラワーアレンジメント



✿ フラワーアレンジメントって、なに???

花用のスポンジ（お花屋さんやホームセンターなどで売っています）などを使って、切花を花器にきれいにかざることです。

✿ 今日のフラワーアレンジメントで使うもの

①花材（切花）

・お花屋さんで売っている、クキを切った花です。

今日使う花の名前を覚えよう!!

- 本
- 本
- 本
- 本



②花用のスポンジ（オアシス）

・花をさす時に使うスポンジに似たもので、オアシスといいます。

③花器

・花をかざるうつわです。バスケット、ガラス、せとものなどいろいろなもので作られています。

④花ばさみ

・花のクキを切るときに使います。

※作るときの注意!

花のクキはななめに切ってください。



⑤バケツ

・バケツに水をいれて花のクキを水の中で切るのに使います。（「水切り」といって、花を長持ちさせるために水の中で切ります。）

フラワーアレンジメント 『ラウンド』の作り方



かたち 上から見ると円形で、横から見ると半円形になります。

作り方 ①水をすわせたスポンジを、花器から2cmほど高くセットします。

②花器の中心に、まっすぐに1本花をさします。

③花器のふちのところに、4本の花を水平にさしていきます。上から見ると十字になるようにさしましょう。

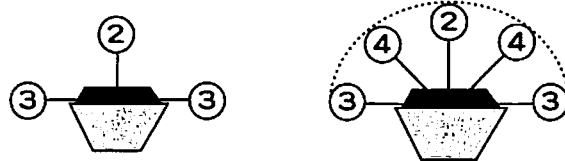
このときに4本の花が同じ長さになるように気をつけましょう。

④中心から45度のところに、花をさします。

⑤あとは、これまでさした花の間をうめるように、小さな花や葉をさしていきます。

⑥上から見ると円形で、横から見ると半円形になるように形をととのえます。

〔横から見た図〕



〔上から見た図〕

